

ニュースレター

熊本乃地名

発行者 熊本地名研究会
会長 木崎康弘

題字 松野国策 書

球磨の文化と「クマ」地名

10月には人吉
球磨へ現地探訪
PDF会員もスタート

新年度総会

熊本地名研究会の令和8年度総会は2月15日午後1時半から熊本市のパレア会議室で、令和7年度事業報告並びに決算報告を承認。次い

(表1) 令和8年度 事業計画書

- 【年度方針】 地元の地名を知り、知ってもらうことによる社会貢献
地名討論および現地研修による学習の充実
- 【年間テーマ】 球磨の文化と「クマ」地名
- 【例会】 ※開催日は現時点の予定で、変更される場合があります
- 2月15日(日) 新年度総会
会長講話「免田の本目(もとめ)について」
当会会長 木崎康弘氏 (パレア会議室6)
 - 3月22日(日) 例会「人吉球磨の地質・地形よらず話」
熊本地学会副会長 村中雄一郎氏 (パレア会議室9)
 - 5月2日(土) 城下町歴史散策(清正公道をさるく)
 - 5月16日(土) 17日(日) 全国地名研究者大会(高知県)
 - 5月31日(日) 例会 人吉・球磨の地名関連講話
人吉史談会代表 大平哲也氏 (パレア会議室9)
 - 6月28日(日) 例会「肥後宗像ファミリー・ヒストリー」
多良木町企画観光課 上村麻妃氏 (パレア会議室6)
 - 7月26日(日) 例会「焼畑のある暮らし」
五木村議会事務局 木野徹也氏 (パレア会議室9)
 - 8月 休会
 - 9月20日(日) 例会 人吉城址地下遺構について
郷土史家 益田敬三氏 (パレア会議室)
 - 10月25日(日) 現地探訪バスツアー 人吉・球磨を訪ねて
 - 11月22日(日) 例会 人吉球磨の地名関連講話 (パレア会議室)
 - 12月20日(日) 外部識者による講演 (パレア会議室)
- 【運営委員会】 毎月第2土曜日
- 【勉強会】 テキスト「地名の研究」(原則 毎月第2土曜日)
- 【会報】 ニュースレター「熊本乃地名」(毎月下旬発行)
- 【ブログ】 Ameba ブログで発信。随時、情報更新。
(ニュースレター「告知板」のQRコードから検索)



パレアで開いた新年度総会

る「免田の本目遺跡について」と題する講話を行った。(2、3ページに要旨)

で令和8年度の事業計画案(表1参照)と予算案(表2参照)、それに会則の一部改正案を原案通り可決した。総会の後、木崎康弘会長が新年度のテーマ「球磨とクマ地名」に関連して、「クマ地名を考へる」

出に移り、出席会員の中から中村裕樹さんを議長に選んで議事に入った。まず藤野事務局長が前年の事業経過を報告。会員数の推移では、期末の75人から期首には68名に減少した。事業では、阿蘇の風土と地名をテーマに取り上げ、阿蘇神話と絡めた開拓の歴史、大官司家や阿蘇神社の祭礼の変遷など各方面からの講演会を開いたのを始め、10月に高森町から南阿蘇村の神社や遺跡、生活文化を訪ねる現地探訪バスツアーも開催したほか、城下町歴史散策は春と秋の2回行ったことなどを報告した。

決算報告は村田茂会計担当が行った。前年度からの繰越金を除く事業収入は、会費収入33万

25000円、バスツアー8万5000円、城下町歴史散策6万3000円など、合わせて48万5167円。一方、支出は通信費12万1506円、ニュースレター印刷費17万9586円、会場使用料等3万2940円、ツアー費用20万6880円など、合わせて46万1690円だった。バスツアー費用が大きくなったのは、前年度に行ったツアーのバス会社への支払いが今年度にずれ込んだため。以上の結果、次年度繰越金は30万3686円となった。決算報告を受け、監事の野島隆一氏が監査結果の報告を行い、両報告案は承認された。

次いで新年度の事業計画案と予算案を一括審議。事業では、今年度の年間テーマを「球磨の文化と「クマ」地名」とし、講演や現地探訪を実施する。1回目の3月(2ページに続く)

地名研究会 告知板

4月～ 行事日程

- ❖勉強会 テキスト「地名の研究」柳田國男著
4月11日(土) 午後1時30分～
パレア会議室 5
- ❖城下町歴史散策「清正公 縁の通りをさるく」
5月2日(土) 午前8時40分集合
熊本駅白川口広場 ▶参加者 受付中!

*地名研ブログでも
会の活動や関連
ニュースを発信中